eYACHO for Business Ver.3 バージョン移行ガイド

(MetaMoJi クラウドを利用しない)

第1版

- iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき 使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoJi が作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社 MetaMoJi に帰属します。
- 本書の内容は予告な<変更することがあります。
 2017 年3月3日 ©2017 株式会社 MetaMoJi

はじめに

本書では、管理者向けに、「MetaMoJi クラウドを利用しない」運用をしている場合の eYACHO for BusinessVer.3 へ移行する手順を説明しています。

eYACHO for BusinessVer.3の概要や導入・運用の方法については、管理者ガイドをご覧ください。

表記

| 名称 | 表記 |
|---------------------------|-----------------------|
| eYACHO for Business Ver.3 | 新バージョンのクライアントアプリケーション |
| eYACHO for Business | 旧バージョンのクライアントアプリケーション |
| eYACHO 管理ツール | 管理ツール |

参照先の表記

関連する機能や詳細について説明している項目を「→」に続けて紹介しています。

| 1 | 概要 | | .4 |
|---|-----|--------------------------------|----|
| | 1.1 | データの移行 | .4 |
| | 1.2 | クライアントアプリケーションのバージョン | .4 |
| 2 | バー | ジョンの切り替えとデータの移行 | .5 |
| | 2.1 | クライアントアプリケーションの導入 | .5 |
| | 2.2 | 新バージョンへの切り替え | .6 |
| | 2.3 | 旧バージョンのクライアントアプリケーションで移行データの作成 | .7 |
| | 2.4 | 新バージョンのクライアントアプリケーションでデータの移行 | .7 |

1 概要

新バージョンのクライアントアプリケーションは、旧バージョンのクライアントアプリケーションとは別のア プリケーションです。このため、自動でアップデートされません。eYACHO for Business のノートを eYACHO for BusinessVer.3 で利用するには、eYACHO for Business と同じデバイスに eYACHO for BusinessVer.3 のアプリケーションを導入し、本書に記載の手順で移行します。

新バージョンに移行するには、本書に記載の手順でクライアントアプリケーションを導入したり、 データを移行したりする必要があります。

1.1 データの移行

移行可能なデータ

個人ドライブのノート・タグ・フォルダ・音声データ・マイアイテム・マイテンプレート

※ゴミ箱のノートは移行されません。

- ツールボックス設定
- mazec の学習・登録データや設定

1.2 クライアントアプリケーションのバージョン

1 つの法人 ID 内では、すべて同じバージョンのクライアントアプリケーションを使用します。 新バージョンのクライアントアプリケーションの使用を開始するには、管理者が管理ツールで バージョンの移行を行う必要があります。

移行後は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します。

2 バージョンの切り替えとデータの移行

すべてのユーザーが準備作業を完了してから、バージョンの移行を行います。



2.1 クライアントアプリケーションの導入

作業者:ユーザー

新バージョンのクライアントアプリケーションを導入します。 導入後は、旧バージョンのデータを新バージョンへ移行します。

1. 新バージョンのクライアントアプリケーションを App Store からダウンロードし、インス トールします。

2.2 新バージョンへの切り替え

作業者:管理者

管理ツールで新バージョンへの切り替えを行います。

※ サーバーでバージョンの切り替え処理を行います。手順 5.のあと、通常、数秒から1分程度で 終わります。

注意: 切り替え後は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します ただし、移行していないデータが残っている場合は、旧バージョンのクライアントアプリケー ションを使用できます。

1. Web ブラウザで次の URL ヘアクセスします。

クラウド版

https://mps101.metamoji.com/mmjeditor2/usradm/ja/verupEYACHO3.html

- ログイン画面が表示されたときは、管理ツールへのログインと同じ要領でログインします。
- 3. 画面に表示される内容を確認し、[上記の事項を確認しました]をオンにします。

| <u> M</u> etaMoJi | | 管理者メニュー | 日本語 |
|--------------------------|---|---------|-----|
| | Ver.3への移行 | | |
| ようこそ 株式会社メタモジ mmjadmin 様 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | GEMBA Note Ver3へ移行すると旧バージョンに戻すことはできません。 バージョン移行ガイドをご確認のうえ、準備が完了してから操作を進めてください。 | | |
| | 図上記の事項を確認しました | | |
| | - Ver.3に移行する | | |

- 4. [Ver.3 に移行する]を選択します。
- 5. 移行を確認するメッセージが表示されるので、[OK]を選択します。

以降は、新バージョンのクライアントアプリケーションを使用します。

2.3 旧バージョンのクライアントアプリケーションで移行データの作成

作業者:ユーザー

旧バージョンのクライアントアプリケーションで移行データの作成を行います。

- 1. 旧バージョンのクライアントアプリケーションを起動します。
- 2. ノートー覧画面で +>「移行データの作成」をタップします。

| | | + = 🔹 |
|------------|--------------|--|
| ▼ 🦲 個人ドライブ | 📋 個人ドライブ > 1 | ➡ 新規ノート作成 |
| ▶ | | └ インボート |
|) 📋 2 | \frown | フォルダ作成 |
| 3 | <u></u> ∓+ | ケジャー協集 移行データの作成 |
| | | |

移行開始のメッセージが表示されます。

3. 「OK」をタップします。

移行データが作成されます。

以上で、旧バージョンのクライアントアプリケーションからの移行データの作成は完了です。

2.4 新バージョンのクライアントアプリケーションでデータの移行

作業者:ユーザー

新バージョンのクライアントアプリケーションでデータの移行を行います。

- 1. インストールした後、新バージョンのクライアントアプリケーションにログインします。
- 2. ノートー覧画面で +>「移行データのインポート」をタップします。

| 8= 1 | | + = 🔋 🔹 |
|----------------|------------|-------------|
| ▼ 個人ドライブ | | |
| オペてのノート | | ↓ インポート) |
| | | ┌┐ フォルダ作成 |
| | ± , | |
| | <u>+</u> + | 移行データのインポート |
| | 新規ノート作成 | |

移行開始のメッセージが表示されます。

3. 「OK」をタップします。

データが移行されました。